

◆ tekuteku 2013★代官山インスタレーション2013（活動記録＋評価結果）◆

企 画■アートのまちづくりを歩く（2）～代官山の街を歩き、インスタレーションを体験する～

日 時■2013年11月4日（月・振休）12時～17時半頃

コース■第一部：代官山の街とTサイトを歩く＜オプション＞（12:00～14:00）

渋谷駅南口～桜丘町～鶯谷町～鉢山町～猿楽町～代官山Tサイト（蔦屋書店）＋カフェAnjin

第二部：代官山インスタレーション2013を訪ねて（14:00～17:30）

代官山サファリ～花さくエントツ～植物を植える、代官山をひそかに改造するプロジェクト～

雨あがり～大きな小さな山～Give me Five～小さくなる～ものーほし～Parking sculpture

参加者■◎青木理恵、青木伊知郎、井手幸人、大竹柊子、大竹 亮、栗原 徹、高橋 謙、村田英樹、

村田真奈美（以上 9名、敬称略、◎コーディネーター）

企画主旨■代官山は、ご承知のように緑豊かな環境の住宅地に高感度の店舗が並ぶ街ですが、開発への圧力が高まる中で、街の価値を守り伸ばすために、地域主導で様々な活動が取り組まれています。前半では、そうした代官山の街に登場した新しいタイプの商業施設である代官山Tサイト（蔦屋書店）が、どのような変化を街にもたらしているのかを実感します。後半は、今回で8回目を迎えた（今回で幕引きとなる予定の）代官山インスタレーションの作品群をめぐり、まちなかに散りばめられたアートが街に及ぼす効果を実体験します。代官山を歩き、代官山の魅力の源泉とそれを活かすまちづくりについて、一緒に考えましょう。

＜参加者の意見・評価＞

1◆代官山の街について（全体）

評価：5.00 内訳：AAAAAA

評価A●街に賑わいがあり、街並みデザインが素晴らしく、良好な住宅地でもある。インスタレーションなど様々な活動も活発であるなど、極めてレベルの高いまちづくりが進んでいる。

評価A●知名度が高いメジャーな街であり外来者が多いにもかかわらず、行き過ぎた商業開発や高層住宅供給が抑えられ、高水準の都市デザインとあいまって、街の品格をうまく保っている。

評価A●新しい建物も規模とデザイン等にブレーキと協調性がうまく利いた開発になっている。

評価A●洗練されている。

評価A●低い建物が多く、並木道もあり、歩いていて楽しくなる街でした。

評価A●数年ぶりに訪れましたが、ますますおしゃれな街になっていると思いました。駅の周辺は少々雑多な雰囲気がありますが、原宿のようにならないよう願います。

2◆代官山Tサイト（蔦屋書店）について

評価：4.67 内訳：AAAAAB

評価A●非常に心地よい空間を提供している。ふつうは、この低密度では不動産事業としては成立しないのだが、グループ全体のPR効果を加味すれば成り立つということか。

評価A●楽しい書店です。特に、ヒューマニクな建物と路地的な空間、食事をしながら芸術関係の古書を読めるカフェ・ラウンジの空間はすてきです。

評価A●店内で迷いましたが、雑多な感覚がいいのでしょうか。2階のカフェ・ラウンジでゆっくりできなかったのが、心残りです。

評価A●大人の遊園地。楽しい空間。



代官山Tサイト（旧山手通に面する蔦屋書店）



代官山Tサイト（住宅地側からの通路）

評価A●とても快適で居心地のいい空間である。数多くの低層建築を分散配置し、遊歩道やブリッジでつないでいる。裏手から路地をアプローチすると、いつの間にか表通りに出るという意外性も楽しい。施設内容は、大人の文化を標榜して、街へのティーンエイジャーの侵入を食い止めているようだ。ランチをとったカフェ・ラウンジは、貴重な雑誌のバックナンバーがそろい、穴場。

評価B●美術書や雑誌のバックナンバーを読みながらくつろげるカフェ・ラウンジが、とても良かったです。店全体は、文化的に充実していると感じました。外観も代官山の街にとっても合っていると感じました。

3◆代官山インスタレーション2013

評価：3.67 内訳：AABBBB

評価A●初めて見ましたが、どの作品も街の中の空間をうまく利用しており、代官山をさらに楽しくするものと感じました。作品それぞれは、アイデアはどれも面白いと感じましたが、そこにもっと強い主張や視覚的刺激を持たせると、より面白かったかもしれません。

評価A●素晴らしい取り組み。今まで知らなかったのは残念。

評価B●街の中でアートイベントをやることで、街の活性化に寄与している。今年の作品がややインパクトが弱かったのが残念。

評価B●今までと比べると少し小ぶりになった感じはありますが、目立たないアートを探す面白かった。

評価B●先駆的なまちなかのアート展ということで、ここまで市民権を得るまでご苦労されたことと思います。しかし、代官山の街自体のデザイン度が高いためか、インスタレーション自体はあまりインパクトが感じられないように思いました。

評価B●今回も街にインストールされたアート群が楽しめたが、作品自体の面白さで勝負する傾向が強く、作品の存在が空間の性格に変化を及ぼす効果を持つ作品が少ないように感じた。言い換えると、街を利用する作品が多く、街を良くする作品が少なかった。また、見る人に参加（具体的な行為）を促すような作品も乏しかった。アイデアの枯渇なのか、管理者の規制が強まったのか、気になるところ。



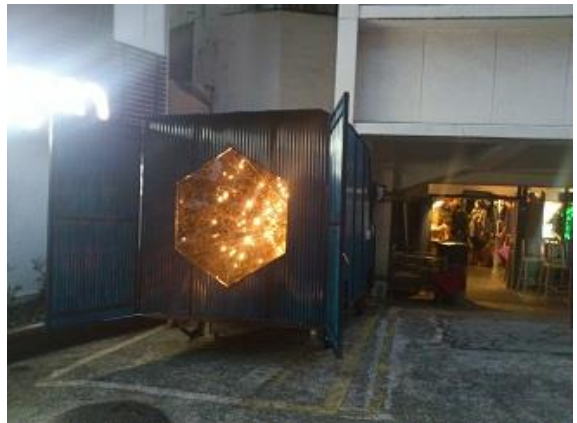
代官山サファリのワニのベンチ（代官山アドレス）



雨あがり（西郷山公園）



小さくなる（ヒルサイドテラスC棟中庭）



Parking sculpture(第一育良ビルエントランス)

4◆代官山インスタレーション2013で印象に残った作品

代官山サファリ★ゾウやキリンの形の遊具も（置く場所も含めて）面白かったが、ワニのベンチはまるでもともと存在するかのように洗練されたデザインで街になじんでいた。

代官山サファリ★見ていて楽しい。街を歩いていて驚き、喜びが湧いてくる。

花さくエントツ★どこでもドアの形がいかにも意味ありげで、インスタレーションに相応しく思われます。

花さくエントツ★見ていて楽しい。街を歩いていて驚き、喜びが湧いてくる（再掲）。

植物を植える、代官山をひそかに改造するプロジェクト★どれが作品だか分からないほど街になじんでいる。

植物を植える、代官山をひそかに改造するプロジェクト★設置場所を超えて展開しつつあったのがいい。

小さな大きな山★この作品は、探した感と疲労感で一番印象に残った。

Give me Five★当初のアイデアから形は変遷していったようですが、結果的には楽しげな遊具になったと思います。強度を上げれば、本物の遊具にもなるかも。

もの一ほし★見ていて楽しい。街を歩いていて驚き、喜びが湧いてくる（再掲）。

もの一ほし★街とミスマッチな岩が、絶妙な緊張感のもとで存在しているのが良かった。



代官山サファリのキリン（代官山アドレス南側）



花さくエントツ（代官山アドレスコート）



植物を植える、代官山をひそかに改造するプロジェクト(乗泉寺・鶯谷さくら幼稚園)



小さな大きな山（上村坂）



Give me Five（ヒルサイドテラスF棟広場）



もの一ほし（ヒルサイドテラスA棟入口）

5 ■毎回の代官山インスタレーションは、代官山の街にどのような効果をもたらしてきたと思いますか？

●街にアートを組み込むことで、アートを多くの人に身近なものにしたという効果があるが、それ以上に、街の中にアートの場所を提供するなどの仕掛けのなかで、街の人々相互のコミュニケーションが図られたことが大きいと思う。

- 企業ベースでもアート展が行われているようで、アートが街に根付いたということではないでしょうか。
- 初めて見て回りましたが、より洗練されたまちづくりに貢献したのではないのでしょうか。
- 代官山が持つ魅力的な場・空間を、インスタレーション展でいろいろ教えていただいた。
- まちなかにアート作品を設置することによって、街を歩くという体験それ自体が、楽しいものであったり、新たな発見ができるのだということを、人々に気づかせることが可能なのではないかと思います。
- 街の持つ、空間の持つ多様な可能性を引き出すアートの力によって、街や空間に対する人々の想像力を豊かにしたと思います。それが、具体的に代官山の街に現れているかどうかは、検証が必要でしょう。

6 ■今まで15年にわたるインスタレーション展の歴史を振り返るにあたり、何が最も重要だと思いますか？

- 一番重要なのは15年も続いたということで、そこで培われた人と人との関係が財産になるのだと思います。場を提供してくれた街の人たち、参加したアーティストたち、審査や事務局として関わった人たち、次のステップとして、こういった人たちとのつながりを活かせるようなことが何かできるといいのではないのでしょうか。
- 代官山インスタレーション展は、この街だからできる仕組みでありアート展だと思います（この街の建物のコードを根付かせた建築家がいる、その建物が当初とかわりない姿で、いまでも現役として街に潤いを提供している場所でのインスタレーション展）。しかし、インスタレーション展を長年続けていく上で蓄積された、作品を公共空間に展示するには行政とどの様な折衝をしたか、作品の展示期間の管理、作品と場と関係を選定委員はどの様に評価したか、等々といったノウハウは、全国のアートでまちづくりに取り組もうとしている人たちにとっては大変役に立つ貴重な情報です。是非こうした情報を本などにまとめて発信していただきたい。
- 代官山のまちの変遷と合わせて、記録を残されたいと思います。とりあえず冊子にして、アート系の図書館に寄贈するとか。
- 街の中に何か行跡を残した方が良いと思います。
- 代官山インスタレーションの特色は、単にまちなかにアートを展示するのではなく、空間の性格を変容させたり、道行く人に参加（行為）を求めるような「街×人×アート」の相互作用にあると思います（今回はそういう作品が少なかったようですが）。そのような関係性をきっちり評価してもらいたいです。また、過去には、常設にしたらと思うような優れたアートも多かったのですが、実現していないようなのが残念です。今後は、恒久的に設置する（空間を実際に改変する）ような取り組みを期待したいところです。

7 ■その他、今回の企画に対する感想など自由に

- 代官山は、おしゃれなブティックなどが多く、買い物を目的として行く人も多いと思いますが、まちなかにアート作品を設置する代官山インスタレーションによって、街を歩くという体験それ自体が、楽しいものであったり、新たな発見ができるのだということを、人々に気づかせることが可能なのではないかと思います。とても楽しい1日でした。（O・S）
- 青木さんの案内で、作品ができるまでの経緯や裏話なども含めて説明してくれたので、非常に楽しい企画でした。（K・T）
- 裏方でご苦労された話や作家さんの思いなど、いろんな話が聞けて大変充実した見学会でした。どうもありがとうございました。（M・H）
- 案内が無いと気が付きませんでした。ありがとうございました。（T・K）
- 定点観測的に訪れている代官山企画、今後とも続けていきたいです。2年に1回程度でいいので、青木さん、引き続き代官山企画をよろしくお願いします。（I・Y）
- 8回15年にわたるすばらしい代官山インスタレーション、大変お疲れさまでした。そして、毎回のようにアートツアーを企画いただいた青木さん、ありがとうございました。今回もとても楽しかったです。幕引きの後の一歩がどちらに踏み出されるのか、楽しみにしています。（O・R）



「植物を植える、代官山をひそかに改造するプロジェクト」の前にて